

# ほんきっこ講演会

テーマ：遊び あふれる まちへ！～新しい狭山のプレーパークを目指して～  
 講師：冒険あそび場づくり協会代表 関戸博樹氏（プレーワーカー“どっくん”）

## 公民館だより編集委員による取材報告

12月15日（金）10時から狭山台公民館ホールでほんきっこ講演会が開催された。

毎年開催されていて、今回で9回目の講演。昨年度の「やめるんだってほんきっこ！」の講演会に続いて今回は、ほんきっこの継続に向けて、「新しい狭山のプレーパークを目指して」というテーマで冒険遊び場の大切さ、多様な遊び場づくりの開催形態等についての話があった。

### 子どもはなぜ遊ぶのか？

人はとても未熟に生まれ、長期にわたり、複雑な遊びをすることで後天的に育つ。未熟で迷惑をかけあいながら育つ。

### 子どもは遊ぶことで自ら育つ

子どもは遊ぶことで「自分」をかたちづくり、人生を手づくりできるようになる。

冒険遊び場は、すべての子どもが、やりたいことを自由に遊ぶことを保障する場所であり、子どもは遊ぶことで自ら育つという認識のもと、子どもと地域と共に作り続けていく、屋外の遊び場である。

### 多様な遊び場づくりのスタイル（開催形態）

- ・都市公園などでの常設開催⇒作りっぱなしができる
- ・車やリヤカーなどを使って荷物を持ち込む開催
- ・倉庫のみ設置して、週末などに定期的に開催⇒設置難。可能なら活動しやすい
- ・拠点からの出張開催⇒近年移動型（プレーカー）が増えている。子ども集まる

### 講演後の質疑応答

「ほんきっこを引き継ぎたいが、集まる人が忙しい。どうしたらいいか困っている」という質問に「無理せず、持続可能で、子どもたちがわくわくできるようなあそび場を作ってもらえればと思う。皆さんで支えて、スタッフの人数や力量を考えながら、その時の状況に応じて変えていくこともあります」と語った。

### 受講者のアンケートより

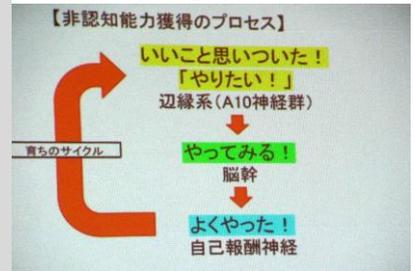
\*いろいろな形でのプレーパークがあること、子どもたちの遊びの大切さを教えていただいた。これからのかわり方を考えていきたいと思いました。



講師 関戸博樹氏



講演会の様子



非認知能力獲得のプロセス

（取材：編集委員 阿部）

## 公民館夜間休館のお知らせ

～注意点～

- ・夜間休館日は17時以降のロビーや印刷機の使用もできません。
- ・火曜日～土曜日の17時～22時までの夜間利用をしたい場合は、利用日の属する前々月の末日までに予約申込みを行ってください。  
 (例：2024年4月中の17時以降利用分→2024年2月29日までに予約申し込み)  
 ※日曜日・月曜日は夜間の利用はできません。
- ・狭山台公民館休館日：国民の祝日  
 施設管理日（毎月第2月曜日）

## 狭山台公民館3月の休館・夜間休館予定表

★夜休：夜間休館日（17時閉館） 休：全日休館日

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
				1	2 ★夜休	3 ★夜休
4 ★夜休	5 ★夜休	6	7	8	9	10 ★夜休
11 休	12 ★夜休	13	14	15	16	17 ★夜休
18 ★夜休	19	20 休	21	22	23	24 ★夜休
25 ★夜休	26 ★夜休	27	28	29	30 ★夜休	31 ★夜休